



人間発達教育科学研究所
Institute for Education and Human Development

マンスリーレポート No.2(2017年8-9月)

お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所は、本学の人間発達科学をテーマとする学内教員を組織し、人間の発達と教育に関する総合的、国際的な研究拠点の構築をめざしています。研究所メンバーによる2017年8月～9月の研究成果（出版著書、メディア掲載、学術論文、学会発表）や活動実績は以下のとおりです（下線は研究所メンバー）。詳細は以下研究所HPをご参照下さい。

<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/iehd/>

◆◆◆研究成果◆◆◆

【出版・著書】

宮里暁美、小林恵子編著『松野クララを偲んで』宮里研究室、東京。2017.8 197p. ゴトー印刷

【メディア（ウェブ・新聞・雑誌等）】

浜野隆、月刊『教職研修』9月号、「文部科学省―「全国学力調査」をエビデンスとしてどう生かせばよいか」2017年8月19日。

【学術論文】

Komoto, Y., Shoun, A., Akiyama, K., Sakamoto, A. et al. (2017).” Development and validation of the Pachinko/Pachi-Slot Playing Ambivalence Scale.” *Asian Journal of Gambling Issues and Public Health*, 7(3). DOI: 10.1186/s40405-017-0023-6

【学会発表】

SAKAMOTO, Kazue. *Japanese Women's magazines, Gender Norms and Fashion*, 2017th International Conference on Knowledge, Culture and Society (ICKCS2017), Hong Kong (China), Sep. 23-25, 2017.

宮里暁美「0. 1. 2歳児の保育から考える生活と発達の連続性」子どもと保育実践研究会 夏季全国大会分科会、2017年8月12日。（実践提案）

宮里暁美「写真を使った記録の可能性～保育の質・可視化・省察・発信・対話をキーワードにして～」公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 第8回幼児教育実践学会、2017年8月19日。（連名：口頭発表）

宮里暁美「ラウンドテーブル：養成校における領域「表現」の授業を考える」日本音楽教育学会 第8

回夏季ワークショップ、2017年8月29日。（指定討論者）

宮里暁美「第11分科会：新指針を踏まえた保育者養成教育の課題（保育内容：表現系）」保育士協議会全国セミナー、2017年9月2日。（提案者）

◆◆◆活動実績（セミナー、シンポジウム等）◆◆◆

刑部育子、浜口順子、宮里暁美、内海緒香（人間発達教育科学研究所共催）
第4回ライフ×アート展（お茶の水女子大学関係者によるアート実践展覧会）
日時：2017年8月2日（水）～4日（金）11:00～18:00（4日は15:00まで）
場所：お茶の水女子大学構内 Student Commons

菅原ますみ（人間発達教育科学研究所共催）

日本双生児研究学会主催 第37回双生児研究会「The power of collaboration: lessons learned from the CODATwins project (H29.8.18)」

日時：2017年8月18日（金）13:00～15:00、場所：お茶の水女子大学文教育学部1号館第一会議室



◆◆◆2017年8月～9月のその他ニュース◆◆◆

- 2017.09.20：スリランカ政府訪問団が附属幼稚園とこども園を視察しました。
- 2017.09.20：第9回運営会議（電子的決裁）を開催しました。
- 2017.09.01：IEHD マンスリーレポート No.1（2017年6-7月）が発行されました。
- 2017.08.31：第8回運営会議（電子的決裁）を開催しました。
- 2017.08.30：第7回運営会議（電子的決裁）を開催しました。
- 2017.08.01：平成29年度の研究所パンフレット（和英）ができました。

【問い合わせ先】

〒112-8610 文京区大塚 2-1-1
お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所
Tel&Fax：03-5978-5539
E-mail：info-iehd@cc.ocha.ac.jp
URL：<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/iehd/>